

第32回日本工作機械見本市 JIMTOF2024

拝啓 貴社益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度弊社は、東京国際展示場にて開催される第32回日本工作機械見本市 JIMTOF2024に出展する運びとなりました。貴社におかれまして、今後の製品開発、生産システムの向上、情報収集等にお役立て頂きたく、当展示会のご案内をさせていただきます。何卒ご来場の程、宜しく願い申し上げます。

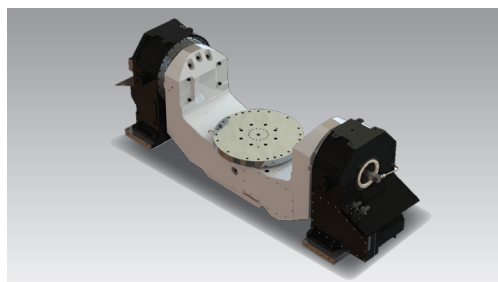
敬具

- 会 期 / 2024年 11月5日(火)～10日(日)【6日間】
- 開催時間 / 西・南展示棟 9:00～17:00 東展示棟 10:00～18:00(最終日は16:00まで)
- ブース位置 / 東京ビッグサイト西展示館 小間番号：W2057

出展デモ機・出展製品

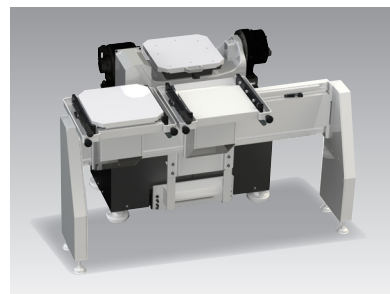
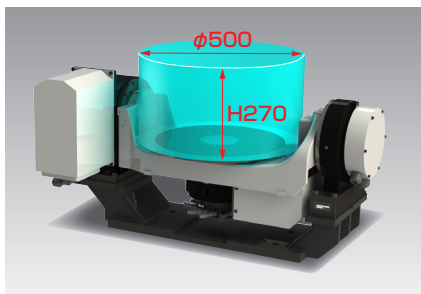
■ 大型アルミダイカスト加工向け大型傾斜円テーブル RTD500A

RTD500Aは大型アルミダイカスト部品加工向けに開発された傾斜円テーブルです。最大ワーク径φ800を持つRTD500Aは、今後EV普及に伴う大型アルミダイカスト部品加工の生産性を向上させます。傾斜軸の両側に駆動をそなえ、ローラドライブ機構を採用することで、慣性モーメントが大きい大型アルミダイカスト部品でも素早く位置決めが可能となります。また、16+1ポートのロータリージョイントを装着することで、自由度の高い治具構成を可能に致します。



■ 小型MC向け傾斜円テーブル RTG500

RTG500は回転軸・傾斜軸にローラドライブ機構を採用し、大型ワークに対応可能な小型・軽量の傾斜円テーブルです。複数工程が必要だったワークでも、A/C軸を備えたRTG500が工程集約、加工効率のよいワーク姿勢や工具選択を可能にします。ワークの自動脱着や着座確認等にお使いいただける12+1ポートのロータリージョイントが装着可能です。手動パレットチェンジ装置と展示致します。



■ 小型MC向け高生産性円テーブル RSRシリーズ

コンパクトかつ軽量化設計により、ワークスペースを最大化。ローラドライブ機構により、慣性モーメントが大きいワークでも高速割出が可能です。加えて加工時のクランプ機構が不要なため、クランプ動作を伴う従来のウォームギヤ機構円テーブルと比較して、位置決め時間を約1/3に削減可能です。また、12+1ポートのロータリージョイントを準備。サポートテーブルと合わせることで最大26ポートが使用可能になります。

